

生 命 倫 理 2

【単位数: 0.5単位, 授業7コマ】

1 科目責任者

川崎 優 講師(哲学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-2-c, I-4-c)

- ① コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「医療従事者に求められる態度」について議論し、自分の考えをわかりやすく説明するための術を身につける。
- ② コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「多様な価値観」に関して、生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観にはどのようなものがあるか学ぶ。
- ③ コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「基本的な倫理の4原則」についてわかりやすく説明できるようになるために、具体的な事例において4原則がどのように活用されるか学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 倫理がなぜ人間に必要なのかを説明できる。
- ② 医療従事者に求められる態度について議論し、自分の考えを説明できる。
- ③ 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。
- ④ 基本的な倫理の4原則について具体的にわかりやすく説明できる。
- ⑤ 生命倫理の諸問題に関する発展的な知識を修得する。
- ⑥ 医療や医学研究の領域において、どのような倫理的問題が生じているか具体的に説明できる。
- ⑦ 生命倫理の諸問題に対する自分の考えをわかりやすく説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	授業の最終日にレポートを課す。
小レポート	○	20%	講義内で小レポートを数回課す。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は、総合成績の10%を限度に減点をする。

出席: 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小レポートについては講義で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
考え方！生と死のこと—基礎から学ぶ生命倫理と死生学	波多江伸子、寺田篤史、脇 崇晴	木星舎	生命倫理の諸問題について端的にわかりやすく概説されている。
入門・医療倫理 I [改訂版]	赤林 朗 [編]	勁草書房	生命倫理の諸問題について、より具体的な国内外の現状や哲学的議論が詳説されている。
看護のための生命倫理 [改定三版]	小林亜津子	ナカニシヤ出版	タイトルに「看護のための」と記されているが、専門問わずおすすめの内容。

6 準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kに講義資料が挙げられている場合には事前に内容を確認すること。また講義後に内容を再確認し、次回以降の講義に臨むこと（1コマあたり約1時間）。

7 授業計画

（1） 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中にグループワークや講師との双方向性応答などのアクティヴ・ラーニングも導入する。

（2） 講義の内容

1学年次で学修した生命倫理1の講義における基礎的な内容を踏まえて、生命倫理に関するより具体的・発展的な内容について学ぶ。医療における倫理的問題に加えて、医学研究における倫理的問題について、歴史的背景や哲学的な議論、国内外の現状を踏まえつつ、多角的な視点から学ぶ。